

# シルクロード やりみず 鑑水

グループホーム ・ 地域密着型老人ホーム



皆様、新年明けましておめでとうございます。

このたびグループホーム シルクロード鑑水は、開設10年目の節目に新たな社会福祉法人を設立し、独立した法人となることができました。開設より社会福祉法人美蘭会の1施設として運営させていただきましたが、美蘭会理事長をはじめ多くの方にご協力を頂き、新法人としてスタートすることが出来ました。お世話になった方々や関係各機関の方々に心より御礼申し上げます。

なお、シルクロード鑑水は平成23年2月1日より新法人による運営となります。また八王子市の公募によるところの地域密着型老人福祉施設【定員29名】を23年秋に開設の予定です。グループホームのケア方針は共感できる方でも、経済的負担が大きく断念せざるを得ない方もいらっしゃいましたが、この老人ホームは、八王子市にお住まいの方なら収入に応じての負担でご利用になれます。またグループホームと同様なユニットケアで全室個室仕様ですのでプライバシー等にも配慮した老人ホームです。おおむね10名のお年寄りが、ひとつのユニット【リビングを共用して、お茶や食事、団欒に利用します】で生活されますので、生活スタイルは、グループホームと同様とお考えください。また生活保護の方がご利用になれるように配慮もされておりますので、お問い合わせいただきたくお願い申し上げます。

今後とも、地域に根ざした施設運営を心がけ、ひとりでも多くの利用者様の笑顔を大切に職員一丸となり努力してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

社会福祉法人 明日檜 理事長 大塚 仁史



|   |   |
|---|---|
| あすなる<br>社会福祉法人 明日檜<br>〒192-0375<br>八王子市鑑水141番地<br>電話 042-674-1710<br>FAX 042-674-1826 | グループホーム<br><br>地域密着型介護老人ホーム<br>(23年秋オープン予定) |
|---|---|

八王子市地域密着型介護老人福祉施設を開設することになりました。

この度、社会福祉法人明日楯は八王子市第四期介護保険事業計画に則り平成二四年三月三十一日までに小規模特別養護老人ホームを開設することになりました。小規模特養とは、名前の通り小型の特別養護老人ホームで、少人数を活かしたより家庭的な介護サービスを住み慣れた地域の中で提供することを目的としています。施設内はプライバシーが保てるように個室が中心となっており、三つのユニット（約一〇名を一グループとしてお世話する）形式になっております。各ユニットには共有の共同生活室や浴室が確保されています。併設事業としては短期入所生活介護（ショートステイ）二床を行います。

入所は要介護一から五と認定されている方が対象となります。また、地域密着型事業であるため、八王子市の住民である必要があります。入所者の選定については八王子市の「入所必要性の評価基準」に基づいて判定委員会を選定させていただきます。

入所を希望される方は七月頃より入所機能を募集いたします。

費用負担は要介護状態や介護保険限度額認定証によって違います。介護保険一割負担、食費、居住費の他に理美容代や医療費、日常生活費などを負担していただきます。申込用紙は八王子市のホームページからダウンロードできます。

## 入所申込みから決定までの流れ

### 希望する施設へ入所申込み

施設や市役所で配布する申込書を施設に提出してください。



※書類の提出後に内容の変更(お身体の具合やご家族の状況など)があった場合は、その都度ご提出ください。

### 施設申込者の入所の必要性を点数化

配点の基準については次の項目にあります。

### 入所検討委員会において入所予定者を決定

施設が点数化した本人の要介護度や介護者の状況などと、その他の点数とまらない特別な事情などをあわせて、各施設が設置した入所検討委員会が審査を行い、必要性の高い方を優先して入所の順序を決定します。

## 平成23年秋竣工予定

平成23年7月より入所希望者を募集いたします。



「会話」

箕輪 勇一

「母」和子九十一歳、十四年前に夫に先立たれ、縁あってシルクロード鍾水にお世話になって六年目、二階では最古参になりました。一人住まいの母とは私の仕事の都合で、毎週水曜日の面会が今日まで続いております。この十四年間で介護認定が「自立」から「要介護5」になり、認知症も大分進行し、母との不思議な会話が続いています。

生来病弱だった母が兄弟で一番長生きをしており、昨年は脳梗塞で入院し経口栄養状態になり心配しましたが、奇跡的に回復し、食事も普通に摂れるようになり、二十七キロの小柄な身体のどこにそんなパワーがあるのか不思議に思っています。

そんな母がかつて幼い私を見つめてくれた同じ眼差しで母を見ている水曜日の自分、人生のフィルムの巻き戻し、時間を超えた母との会話、行ったり来たり言葉の遊び、繰り返される質問、時には伯父になったり弟になったりする役者の自分、母との会話で自分の過去を思い出し、将来の自分を想像するこの時間、「また来るね」と「笑顔」で終わるこの人との会話。

何時迄続くのだろうか、この不思議な会話、多分いつか来るその瞬間まで、母の人生の最後の会話の相手が自分であって欲しいと思う今日この頃です。

シルクロード鍾水の出来事

- 6月 高幡不動のアジサイ祭
- 7月 七夕祭り・誕生会・G/Hこまくさの家訪問
- 8月 納涼会



9月

勝沼ブドウ狩り



敬老会

余興



9月8日あいにくの雨でしたが、山梨方面に出掛け、河口湖で遊覧船ののり、ほうとううどんに舌鼓し勝沼でぶどう狩り雨は、行く時々やんでいてくれました。



ミュージックセラピー  
(音楽療法の1コマ)



町田リス園・とダリア園に外出



南大沢くららさんとの風船バラ大会

外出は、皆さんの楽しみです。毎日のようにスーパーに買い物には出掛けてはいますが10・11月は学校行事に招待されたり、12月は、毎年恒例のクリスマス会や餅つき大会も行いました。

これは、うまい！

魚肉ソーセージのコロコロかき揚げ



「魚肉ソーセージが何より好き」という利用者さんの為に探したレシピです。山芋もソーセージも揚げることにより柔らかく、お年寄りにも食べやすくなります。試してみてください！



①長芋は皮を剥き、1cm 角位に切る。  
同じくソーセージも 1cm 角位に切り、枝豆は茹でて鞘から出す。

②天ぷら粉を同量の水で溶き、①の具材を全て入れて混ぜる。

③スプーンなどを使って②を丸く落とし入れ強火から強めの中火で、途中裏返しながらかき揚げするまで揚げる。

笑顔の為に

Aさんがホームに入所されたのは、ちょうど1年前のことです。長男夫婦と生活されていましたがご夫婦はお忙しく、デイサービスでお風呂を利用されたり、ヘルパーさんの援助を受け生活されていきました。私達の言葉には「できません」「いりません」と繰り返して、ご自身の殻に閉じこもり、家に帰りたい気持ちや衣食住の心配より「人」を注意深く観察しているようにも見受けられました。悪いたとえかも知れませんが、みんな「敵」の如く思われていたのかも知れません。(後から思うことは、心を許せる他人にめぐりあったことが無く、在宅のヘルパーさんにも心は開いてなかったのでは?)

歩行や食事など身体的な方面の問題も抱えられていましたが、まずは精神的にリラックスして私達を味方と思って頂くところからプランを立てアプローチをしてきました。状況は深刻で生活面全てにおいて拒否の強い毎日が続きました。

徐々に、してほしいことへの訴えは、しっかり主張されるようになり、甘え的訴えが出てくるようになりました。これは、多少こちらのことをわかってもらえていたのでは?と思うようになり半年が過ぎ、背の高い職員が台所に天袋の扉が開いているのに気づかず頭をぶつけ、真っ赤になり痛みをこらえているのを見ると笑っていることに気づきました。この半年間、何とか心を開いて頂きたく、昔好きだった事や、大好きな息子さんの事か

ら会話の糸口をつかもうと情報を集めました。早口言葉が得意なこと、息子さんが大の誇りであること、大好きなコーヒーと一緒に飲みながら、早口言葉で遊んだり、校歌を口ずさんで下さるような変化が見られたのです。心の扉をAさんは、開けかけてきています。それは、笑顔や笑い声だけではなく、容姿に表れてきています。

入居された当時は、お顔に寂しさといましようか、人生のつらさみたいなのを感じましたが、心の扉が開かれ、笑顔が戻りつつある今日この頃は、心とお顔が優しくなれたと感じます。

この瞬間があるからこの仕事は辞められないのだと思います。またあんな笑顔で笑ってくれるかな。日々の職員の格闘は続きます。すべての扉は、開けられません。他人はあくまでも他人であり、残った扉は、暖かい家族の思いで開けて頂きたいの思いがホームにはあります。

編集後記

箕輪さんから原稿を頂いた時、涙がこぼれました。私達介護職の仕事には正解がありません。日々これでいいのかと迷い、悩みながらケアをしております。今回ご家族の思いを知り、六年間の箕輪さんとお付き合いを通して私達の気持ちもご家族と大変近いものであることが解り、安堵の涙だったと思います。これからも箕輪さんと息子さんの穏やかな会話が続くよう支援していきたいと思えます。